

CS-800 / CS-500 Firmware

主なアップデート内容

V1.4.0

新機能

- OSDメニュー機能の無効/有効を切り替える機能を追加しました。
※ ヤマハ CS マネージャー V1.2.0 を使って、この機能の実行が可能です。

改善点

- フェイスフォーカスビームフォーミング機能の精度・音質を改善しました。

修正した不具合

- マイク・スピーカーが動作しなくなる場合がある問題を修正しました。
- カメラカバー開閉時のカメラ映像の明るさ調整を改善しました。
- DisplayLink機能を有効にしてもCS-800/CS-500のHDMI端子から映像信号がテレビやモニターに出力されない場合がある問題を修正しました。
- CS-800/CS-500をClickShareまたはChrome OSと接続した場合に、リモコンでの音量操作が正常に動作しなくなることがある問題を修正しました。
- Zoom Roomsのバージョンにより、CS-800/CS-500が認識されない問題を修正しました。
- ビデオ会議ソフトウェアの解像度が720pのときの画質を改善しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

V1.3.2

修正した不具合

- Teamsを使った会議中に使用するカメラを切り替えると、以下の現象が発生することがある問題を解決しました。
 - マイクミュート状態 (CS-800/CS-500 のステータスインジケータが赤点灯) にも関わらず、音声を収録して遠隔側に出力されることがある。

V1.3.1

改善点

- カメラの画質を改善しました。

- Google Meet 使用時にカメラの起動時間が短縮するように改善しました。

修正した不具合

- Mac と接続した CS-800/CS-500 に対して、リモコンからボリュームを変更できない場合がある問題を修正しました。
- Microsoft Teams での会議開始直後にマイクノイズが発生する場合がある問題を修正しました。
- カメラで人物を検出しているのにも関わらず Auto monitor off 機能が動作する場合がある問題を修正しました。

V1.2.0

新機能

- 「CS Remote Configurator」に対応しました。Wi-Fi 経由で複数台の CS-800 および CS-500 を一括設定できます。
 - ファームウェアの一括アップデート
 - 設定ファイルの一括インポート
 - 待機画像の一括変更※「CS Remote Configurator」を使用するにはファームウェアを V1.2.0 以上にアップデートしてください。
- 「ヤマハ CS マネージャー」を使用して、設定ファイルをインポート/エクスポートできるようになりました。
- 「ヤマハ CS マネージャー」を使用して、複数台の CS-800 および CS-500 を識別するために、ホスト名を設定できるようになりました。

改善点

- フェイスフォーカスビームフォーミング機能の精度を向上、音質を改善しました。
- 話し始めの音声欠けにくいように Self-Silence 機能を改善しました。
- カメラの画質を改善しました。
 - ノイズを軽減
 - シャープネスをより自然に調整
 - 人物の顔の色合いを改善
- スマートフレーミング機能を改善しました。
 - 顔検出の精度を向上
 - SpeakerTracking モードでの話者への追従速度を向上
 - Individual モードで、指定した人物がいなくなったときの動作を改善
- カメラが稀に映らなくなる問題を改善しました。
- NTP サーバーと時刻の同期がされていない状態では、待機画面の時刻が非表示になるように仕様を変更しました。

修正した不具合

- 「ヤマハ CS マネージャー」を使用してサブネットマスクの設定を変更しても反映されない問題を修正しました。
- Bluetooth 通話開始直後にエコーが発生する可能性がある問題を修正しました。
- 本体と PC を USB 接続し、共に電源 ON の状態で 1 カ月以上経過した場合に、スピーカーやマイクが動作しなくなる問題を修正しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。